

家長制度・戦争・高度成長

激動生きた女性の語り



西東京の市民ら、22人から聞き書き

西東京市誕生10年を機に、戦争や高度経済成長といった激動の時代を生き抜いてきた女性の姿を次世代に伝えようと、「西東京市の女性の聞き書き集——いのちと知恵をつなぎ、暮らしから社会を変えた女たち」が発行された。市民らでつくる「西東京市の女性史を編さんする会」がまとめた。歴史の表舞台に登場することの少なかった女性の生きざまが、それぞれの語り口のまますづらられている。

(菅野みゆき)

旧田無町初の女性町議会議員で、2009年11月に93歳で亡くなった野本ふじさんをはじめ、市内に暮らす70〜90歳の女性22人を取り上げた。老舗料理屋や有名寺院に嫁いだ人、農協や福祉活動に尽力した人たちが、戦争中の空襲、家長制度の中で低い地位に置かれた苦勞、生活向上を目指して手を取り合って活動したことなどについて語っている。「女性とまちの動き」の年表や参考資料も掲載され、歴史とともに、女性の立場の変化も読み取れる。掲載された人々からは、「子や孫に話しておきたいことをまとめていただき、感謝している。この冊子は私の生き証しです」という感謝の手紙も届いて

「エネルギー伝えたい」

「編さんする会」は、市内在住の女性を中心に、男性も含め12人。男女共同参画社会を目指す市内のNPO法人「生活企画ジェフリー」が母体となつて、08年から準備を始めた。09年7月に会を結成して本格的に活動をスタートし、市の補助金をもとに本を作った。

ジェフリー理事長で、「編さんする会」代表の渡辺美恵さん(64)は「過去を知るだけでなく、困ったことがあれば、周囲に声を掛けて行動に移すというエネルギーを持っていった女性の姿を次の世代に伝え、なぜ今の私たちは自分の思いを素直に社会に訴えたり、人とながったりできないのかを考える材料にしたい」と話す。

聞き書き集は、5日午後1時から住吉町6丁目の市男女平等推進センター(パブリテ)で開かれる講座「西東京市女性史編さんの意義と楽しさ——次はあなたも編集者」などで、参加者に配布されるほか、希望者は送料を負担すれば送ってもらえる。

問い合わせはジェフリー(042・467・2089)へ。

聞き書き集を手には、「第2集も作りたい」と話す渡辺美恵代表。西東京市南町3丁目